

## 平成21年2定 文教常任委員会

### 此村委員

文教常任委員会に付託されました諸議案に対し、公明党神奈川県議団を代表いたしまして、賛成の立場から、意見、要望を申し上げます。

まず、県立高校生の就職支援についてであります。

昨年秋以降のサブプライムローン問題やリーマンブラザーズ破たんにより端を発した10年に一度と言われる経済危機の中、各企業では、人員削減の取組が加速しております。こうした先が見えない経済危機の中、高校生の就職支援にとって大変厳しい状況が続くことが予想されます。また、高校を卒業した後でも、リストラなどで失業する可能性があり、卒業生にとって、ハローワークだけではなく、母校での就職の相談ができることは大変心強いことです。

そこで、県立高校での卒業生に対する相談体制を整備するとともに、そのことを卒業生に周知することを強く要望します。

次に、部活動を支援する人材バンクについてであります。

部活動を活性化する上で、専門的指導力のある外部指導者を、学校の実情に応じて配置することが大変重要であります。しかし、外部指導者を活用するに当たって、指導者を容易に探すことができない学校もあり、県教育委員会として、人材を求める学校に対して、東京都の人材バンクのような仕組みをつくり、しっかりとした支援体制を整備することを要望します。

次に、教育委員会における障害者雇用についてであります。

教育委員会で、法定雇用率を達成することは、あらゆる分野に障害者の社会進出を進めていくことだけではなく、自分の尊敬する障害のある先生に学んだということが、ノーマライゼーションを進める上で大きな意義があるものと考えます。

県教育委員会では、障害者雇用推進会議を設置し、障害者雇用の取組方針をまとめるということですが、速やかに具体的な取組を進め、3年を目どに、法令で定められた障害者雇用率を達成することを目指して、努力していただくことを要望します。

次に、薬物乱用防止教育についてであります。

薬物乱用は、本人の心身に影響を与えるだけではなく、社会的にも極めて大きな問題であり、学校における薬物乱用防止教育は極めて重要であります。平成21年度に実態調査を実施することは評価するものでありますが、県の調査協力結果についてできる限り早急にまとめ、実態に基づく適切な指導や、生徒、保護者への啓発及び具体的な取組を早期に実施することを要望します。

次に、学校におけるインフルエンザ、麻しん対策についてであります。

まず、インフルエンザにつきましては、臨時休業の目安とともに、留意事項を取りまとめて、県立学校や市町村教育委員会に周知し、万全の対応をお願いしたい。

また、麻しんにつきましては、国において、学校における麻しん対策ガイドラインを示しているが、県教育委員会としての考え方を、臨時休業の判断等、具体的内容を周知し、学校長に対策の徹底をするよう要望します。

さらに、麻しんの予防接種につきましても、実態を把握した上で、各学校長に積極的に児童・生徒に予防接種を勧めるよう、併せて要望します。

次に、文化財のホームページによる普及、啓発についてであります。

神奈川県内には、国、県、市町村指定の貴重な文化財が多く存在しております。また、文化財に関しては、多くの県民、国民が興味、関心を持ってきており、神奈川の文化財を紹介することは、文化立県神奈川、観光立県かながわを支える大きなツールとなると考え

ます。市町村とのホームページのリンクなど、大変努力していただき、より良いものとなってきていることは評価しますが、やはり地図等の充実など、多くの人に訪れていただくという視点に立った、更なる充実が必要と考えます。折しも、今年は横浜開港 150 周年で、たくさんの方々の来県が見込めますので、早めの対応を要望します。

以上、意見、要望を申し述べて、当委員会に付託された諸議案に賛成いたします。